

## 母の愛

動画リンク: <https://youtu.be/Mw4Ni7ZtzFU>

今回は「母の愛」を学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には "ふりがな" があります。

後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に "ふりがな" はありません。

学習にお役立てください。

### ■ 自己紹介と家族の紹介

私の名前は高木さくらです。今日は、母からももらった愛についてお話したいと思います。

私の家族は、父、母、そして私の3人家族です。父はいつも仕事で忙しくしていますが、

母は私のそばでいつもサポートしてくれました。母は、私にとってとても大切な存在です。

小さいころから、母は私をずっと支えてくれて、いろいろなことを教えてくれました。母

は、朝早く起きて朝ごはんを作ってくれたり、学校に行く前には必ず「いってらっしゃい」

と声をかけてくれたりしました。私は子どものころ、それが当たり前だと思っていました

が、今になって、母がどれだけ私のために時間を使ってきていたのかを強く感じていま

す。どんなに忙しくても、母は私のことを最優先に考えてくれていました。母は私にたく

さんの愛情を注いでくれました。母がいてくれることで、私は安心して自分の考えや気持

ちを伝えることができました。母は、私にとっての「安心できる場所」だったので。母

が私にしてくれたこと、そしてそれがどれだけ私の人生に影響を与えてきたかを振り返り

ながら、お伝えできればと思います。母の愛はとても深く、私の生活や心をいつも支え

てくれていました。その愛に感謝の気持ちを込めて、少しでも皆さんに母の素晴らしさを

伝えられたら嬉しいです。母はいつも、私が成長するために必要なものを与えてくれまし

た。母からももらった愛や教えは、今の私の大きな部分を作っています。皆さんも、ご自身

のお母さんや家族について考えるきっかけになればと思います。

■ 幼少期に感じた母の愛

毎日の生活の中で、母が私にしてくれたことは数え切れません。例えば、朝、母は私をやさしく起こしてくれて、学校に行く準備を手伝ってくれました。朝ごはんを作ってくれたり、服を選んでくれたり、学校に行く前の準備を手伝ってくれる母の姿は、いつも安心感を与えてくれました。また、母はいつも私を見送ってくれました。家のドアを開けて「行ってらっしゃい」と手を振る母の姿を、私はいつも見ながら学校へ行っていました。それは小さなことに見えるかもしれませんが、毎日その姿を見ることで、私は母の愛を感じていました。どんなに忙しい日でも、母はこの習慣を欠かしませんでした。母は、私が学校から帰ると「おかえり」と笑顔で迎えてくれました。時にはおやつを準備してくれて、私の話を聞いてくれました。学校で何があったか、楽しかったことや困ったことを母に話す時間が、私にとってとても大切なものでした。母は、私が話すことに対して、いつも優しく耳を傾けてくれました。そのおかげで、私はどんな時も母に自分の気持ちを伝えることができ、心の中にたまった不安や悩みを解消できたのです。また、母は料理がとても上手で、毎日おいしい食事を作ってくれました。今思えば食事の時間は、母が私たち家族に愛情を伝える瞬間だったように思います。母の作るごはんは、ただお腹を満たすだけでなく、心も満たしてくれるものでした。母が忙しい中でも、いつも心を込めて作ってくれた料理を通じて、私は母の深い愛情を感じる事ができたのです。このように、母は日々の小さな行動を通して、私に大きな愛を伝えてくれていました。その愛のおかげで、私は安心して毎日を過ごすことができました。母の言葉や行動は、私にとって大きな支えであり、いつも私を守ってくれる存在だったのです。

## ■ 日常の教えと習慣

母からは、日常生活の中でたくさんの大切なことを教えてもらいました。まず、掃除や整理整頓についてです。母はいつも家をきれいに保つことが大事だと言っていました。私は小さいころから、母が掃除をする姿を見て育ちました。部屋をきれいにすることは、自分の心も整えることにつながると母はよく言っており、今でもその教えを守って、部屋をきちんと片付けるようにしています。料理のこともたくさん学びました。母は毎日料理を作ってくれましたが、その過程でいろいろなことを教えてくれました。例えば、野菜の切り方やお米の炊き方など、基本的な料理の知識の他にも、ただ料理を作るだけでなく、家族の健康を考えて栄養バランスにも気を使って作ることなどです。そのおかげで、私は料理がただおいしいだけではなく、体に良い食べ物を選ぶことが大切だと学びました。また母は、他人に対する思いやりの大切さを教えてくれました。困っている人がいたら手を差し伸べること、人を助けることは自分にとっても大切なことだと、母はいつも言っていました。例えば、近所の人困っていると、母はすぐに助けに行きます。その姿を見て、私は自然と「自分も人の役に立ちたい」と思うようになりました。時間を守ることや、約束をしっかりと守ることも、母からの教えです。母は、私に「約束は大切だから、必ず守りなさい」とよく言っていました。小さいころは、その意味がよくわかりませんでした。大人になるにつれて、約束を守ることの大切さを理解するようになりました。それは、信頼を築くために必要なことだからです。

このように、母は日々の生活の中で、私にたくさんの大切なことを教えてくれました。その教えは、今でも私の生活の中で大切な部分となっています。母から学んだことを、私もこれからしっかりと守っていきたいと思います。

## ■ 特別な出来事と感謝

母との思い出の中で、特別に印象に残っている出来事がいくつかあります。例えば、私が小学校を卒業したときのことで、卒業式の日、母はとてもきれいな服を着て、私のために式に参加してくれました。式が終わった後、母は「よく頑張ったね」と私に言ってくれて、家に帰ると、私の好きな料理をたくさん作ってくれました。その日は、家族みんなでお祝いをして、母のやさしさと愛情を強く感じました。また、私の誕生日のときも、特別な思い出があります。ある年の誕生日、母は私のために手作りのケーキを作ってくれました。ケーキには、私が好きな果物がたくさんのもっていて、一つ一つ丁寧に作られているのがわかりました。そのケーキを見たとき、私は本当にうれしくて、母の気持ちが伝わってきました。母が私のために一生懸命準備してくれたことを思うと、心から感謝の気持ちが湧いてきました。私が中学生のとき、勉強で悩んでいた時期がありました。試験で思うような点数が取れず、自分に自信をなくしていたことがあります。そのとき、母は私にこう言いました。「結果も大事だけど、頑張る過程がもっと大事だよ」と。その言葉は私にとって、大きな励ましとなりました。母はいつも私の気持ちに寄り添ってくれて、決して怒らず、私が前向きになれるように支えてくれました。そのおかげで、私はその後、勉強にも自信を持つことができました。このような出来事を通じて、母の愛を強く感じました。日常的なサポートだけでなく、こうした特別な瞬間に母が見せてくれた愛情は、私にとって一生忘れられない大切な思い出です。母がいつもそばで支えてくれたことは、私が成長する中で大きな力になりました。母の愛があったからこそ、私は今の自分でいられるのだと思います。これからも、母への感謝の気持ちを忘れずに、母が教えてくれたことを大切にしていきたいです。そして、将来は、母に恩返しができるような人になりたいと心から思っています。

## ■ 反抗期と母親

私が思春期のころ、母親との間でいくつかの意見のすれ違いがありました。特に、中学生の頃は、学校の友達や自分の考えに強く影響を受けて、母の言うことに反発していました。母は、私のために思っているいろいろなアドバイスをしてくれましたが、そのころの私は「自分の考えでやりたい」と強く感じていて、母の意見を聞きたくありませんでした。ある日、学校のことで母と大きな口論になったことがあります。母は私に、「勉強は大切だよ、しっかりしなさい」と言ってくれましたが、そのときの私は、その言葉が重く感じてしまい、反発しました。「わかってるけど、私のやり方でやりたい!」と強く言い返してしまいました。母は少し驚いた顔をしていましたが、それでも冷静に「あなたのために思っているのよ」と伝えてくれました。その日はお互いにイライラして、話し合いはうまくいきませんでした。しかし、夜になってから、母が私の部屋に来てくれて、ゆっくりと話をしてくれました。「あなたがどう感じているのか、ちゃんと聞かせて」と母が言ってくれたおかげで、私は自分の気持ちを素直に話すことができました。母も私の話をじっくり聞いてくれて、「それなら、これからは自分で考えて行動してみなさい。ただし、困ったときはいつでも手を貸すからね」と言ってくれました。その時、母の愛情の深さに改めて気づきました。母は私に自分の考えを押し付けるのではなく、私が成長できるようにと見守ってくれていたのです。思春期の私はそのことに気づかず、母に対して反発ばかりしていましたが、母は私の成長を信じて、いつも温かく支えてくれていました。この経験を通して、私は母の愛情の形が変わってきたことに気づきました。小さいころは母がすべてを教えてくれていましたが、成長するにつれて、母は私が自分で考え、自分の道を選ぶようにそっと見守るようになったのです。今では、母と衝突することはほとんどなくなり、むしろ困ったときは母に相談できる関係になっています。母親とのすれ違いやそれに伴う葛藤は、私を成長させる大切な経験となりました。母がいつも私を信じてくれていたおかげで、私は自分自身を信じて前に進むことができるようになりました。

## ■ 母親の影響と自分の成長

母親の影響は、私の人生に大きな変化をもたらしました。幼いころから母は、私に「努力は必ず報われる」という言葉を繰り返して言ってくれました。この言葉は、今でも私の心の中に深く刻まれていて、どんなに難しいことでも挑戦する勇気を与えてくれます。母が教えてくれた価値観や行動は、今の私の生活や仕事にも大きく役立っています。私は学生時代、勉強が苦手でした。特に数学はどうしても好きになれず、テストの点数もあまりよくありませんでした。しかし、母は私に「できるまで頑張ろう」と何度も励ましてくれました。母と一緒に問題を解いてくれたり、わかるまで説明してくれたりしました。そのおかげで、私は少しずつ自信を持つことができるようになり、最終的にはテストで良い点を取ることができました。この経験から、「努力は自分を裏切らない」という教えが本当に正しいと実感しました。また、母はいつも「人に優しくすること」の大切さを教えてくれました。母は、周りの人にいつも親切に接していて、困っている人がいれば手を差し伸べる人でした。その姿を見て育った私は、自然と「誰かを助けたい」という気持ちを持つようになりました。友達が困っているときは相談に乗ったり、職場でも周りの人たちをサポートすることを心がけています。母の行動は、私にとっての「優しさの手本」であり、私もそのような人になりたいと思っています。このように、母が私に与えてくれた影響は、私の人生に深く根付いています。勉強や仕事だけでなく、人間関係や日常生活でも、母から学んだことは私の行動の基本となっています。母が私に教えてくれたことが、今の私を支えているのです。そして、これからも母の教えを大切にしながら、自分自身を成長させていきたいと思っています。母の影響は、私の中でこれからもずっと生き続けるでしょう。

## ■ 日本の母親像と文化的背景

日本において、母親の役割は長い間非常に大切なものとされてきました。特に、家族を支える存在として、母親は日常生活の多くの場面で重要な役割を果たしてきました。日本の家庭では、伝統的に母親が家事や子育てを中心に担い、家族全員の生活を支えることが一般的でした。母親は、子どもが学校に行く準備を手伝ったり、健康を考えて食事を作ったり、家の中を清潔に保つなど、多くの責任を負っていました。「お母さん」という言葉が持つ意味は日本ではとても大きく、子どもにとって母親は頼れる存在です。困ったときに相談でき、家族全員が安心して生活できるように母親が家庭の「安定」を支えているという価値観が根強く残っています。私もその中で育ち、母はいつも私のために家をきれいにし、毎日おいしいご飯を作ってくれました。教育においても母親は非常に重要な役割を果たしてきました。多くの家庭では、母親が子どもの勉強をサポートし、学校の活動にも積極的に参加します。例えば、授業参観や学校行事に出席し、子どもの成長をしっかりと見守るのが母親の役割でした。私の母も、私の学校生活に常に関心を持ち、勉強でうまくいかないときには励ましてくれました。しかし、時代とともに日本の母親像も変わりつつあります。今では、母親だけが家事や育児を担うのではなく、父親や家族全員が協力して家庭を支える考え方が広がってきています。共働き家庭が増え、父親が家事や育児に積極的に参加する家庭も増えていきます。家事や育児の責任を母親一人に押し付けるのではなく、家族全員で分担し、協力し合うことが重要視されるようになりました。それでも、母親が家族に与える影響は依然として大きいです。母親は、家族全員を精神的に支える柱のような存在であり、その愛情やサポートは、今でも多くの日本の家庭で大切にされています。私も、自分が大人になる中で、母が私の人生にどれだけ大きな影響を与えてくれたのか、日々感じています。これからは、家族全員が協力しながら家庭を支えていくことが求められていますが、母親が果たしてきた役割やその存在の大切さは決して忘れられるものではありません。私も母から教わった愛や支えを大切にしながら、周りの人々を支える存在になりたいと思います。

■ いま じぶん はは かんしゃ きち 今の自分と母への感謝の気持ち

いま じぶん ふ かえ はは かんしゃ きち 今の自分を振り返ると、母への感謝の気持ちがますます強くなっていることに気づきます。  
ちい はは はは わたし じかん ろうりよく つか 小さいころは、母がどれだけ私のために時間や労力を使ってくれていたか、よくわかりませんでした。しかし、いま はは わたし せいちょう今は母のサポートがあったからこそ、私がここまで成長できたのだと実感しています。特に私は仕事じつがが忙しくなると身の回りのことに手が回らなくなるので、母がしてくれていた家事かじや料理りょうりの大変さが身に染みます。自分が母親の年齢ねんれいに近づくと、母がどれほどの努力どりよくをしていたのか、そしてその努力がどれだけの愛情あいじょうに基づいていたのかが、よりよく理解りかいできるようになりました。母は決して自分のことを優先ゆうせんせず、いつも私のことを一番いちばんに考えてくれていました。それに気づいたとき、私は本当に感謝の気持ちかんしゃのきもちでいっぱいになりました。将来、私は母に恩返しおんがえをしたいと思っています。母が私に注いでくれた愛情あいじょうや時間は、計り知れないものです。それをすべて返すことはできないかもしれませんが、母がしてくれたように、私も母を大切にしたいです。例えば、母が好きな場所ばしょに一緒いっしょに出かけたり、母がしてくれたように美味しい料理りょうりを作ったりして、少しずつ感謝の気持ちかんしゃのきもちを伝えたいと思います。母からももらった愛あいは、私にとって何よりも大切な宝物たからものです。それは、日々の生活くわつごの中で私を支え、困難くわんなんなときには励まし、楽しいときには一緒いっしょに喜んでくれるものでした。その愛あいがあったからこそ、私は今、自分に自信じしんを持ち、前向きまえむきに人生じんせいを歩んでいけるのです。皆さんも、ぜひ自分の家族かぞくや大切な人ひとに感謝の気持ちかんしゃのきもちを伝えてみてください。日常にちじょうの中で、何気ない瞬間しゅんかんにこそ、大切な愛情あいじょうが込められています。そのことに気づいたとき、きっと感謝の気持ちかんしゃのきもちが生まれるはずうです。そして、その気持ちきもちを伝えることが、さらに家族の絆かぞくのきずなを深めてくれるでしょう。



■ 私が皆さんに伝えたい家族への思い

私が母からもらった愛情について話してきましたが、ここで皆さんにも少し考えていただきたいことがあります。それは、皆さんにとっての家族や大切な人との関係です。私が母に感謝しているように、皆さんも家族や大切な人に対して、日常の中でどれだけ感謝の気持ちを持っているかを振り返ってみてください。日本では、母親や家族の存在がとても大切にされています。ですが、忙しい日々の中で、その大切さに気づかないまま過ぎてしまうこともあります。しかし、少し立ち止まって、自分がどれだけ家族に支えられているかを考えることで、もっと深い感謝の気持ちが芽生えるかもしれません。例えば、毎日当たり前のようによく用いられる食事や、家族との何気ない会話。それらは小さなことに見えるかもしれませんが、その一つ一つに家族の愛情が込められています。私も、母が日々してくれていたことの価値に、年を重ねるごとに気づくことができました。そして、その気づきが、私をさらに母との絆を深めることにつながりました。この動画を通じて、皆さんにも家族や大切な人との関係について、少しでも考えるきっかけになればと思います。特に、母親や家族がどれだけ自分を支えてくれているかに気づいたとき、その感謝の気持ちは自然と生まれてくるでしょう。そして、もしその感謝を伝えられる機会があれば、ぜひ言葉にしてみてください。「ありがとう」という言葉は、とてもシンプルですが、相手にとって大きな意味があります。最後に、私自身もこれから母に対して、もっと感謝の気持ちを伝えていこうと思います。日々の生活の中で、母の存在に感謝し、その気持ちを言葉にして伝えることは、今の私にとってとても大切なことです。そして、これからも母との絆を大切にしながら、自分自身も成長していきたいと考えています。皆さんもぜひ、自分の家族や大切な人に感謝の気持ちを伝えてみてください。きっと、その一言が新たな絆を作り、家族との関係をより強くしてくれることでしょう。母からもらった愛情が私の人生を支えてくれたように、皆さんも大切な人との絆を深めていってください。

「母の愛」はいかがでしたか。  
コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

